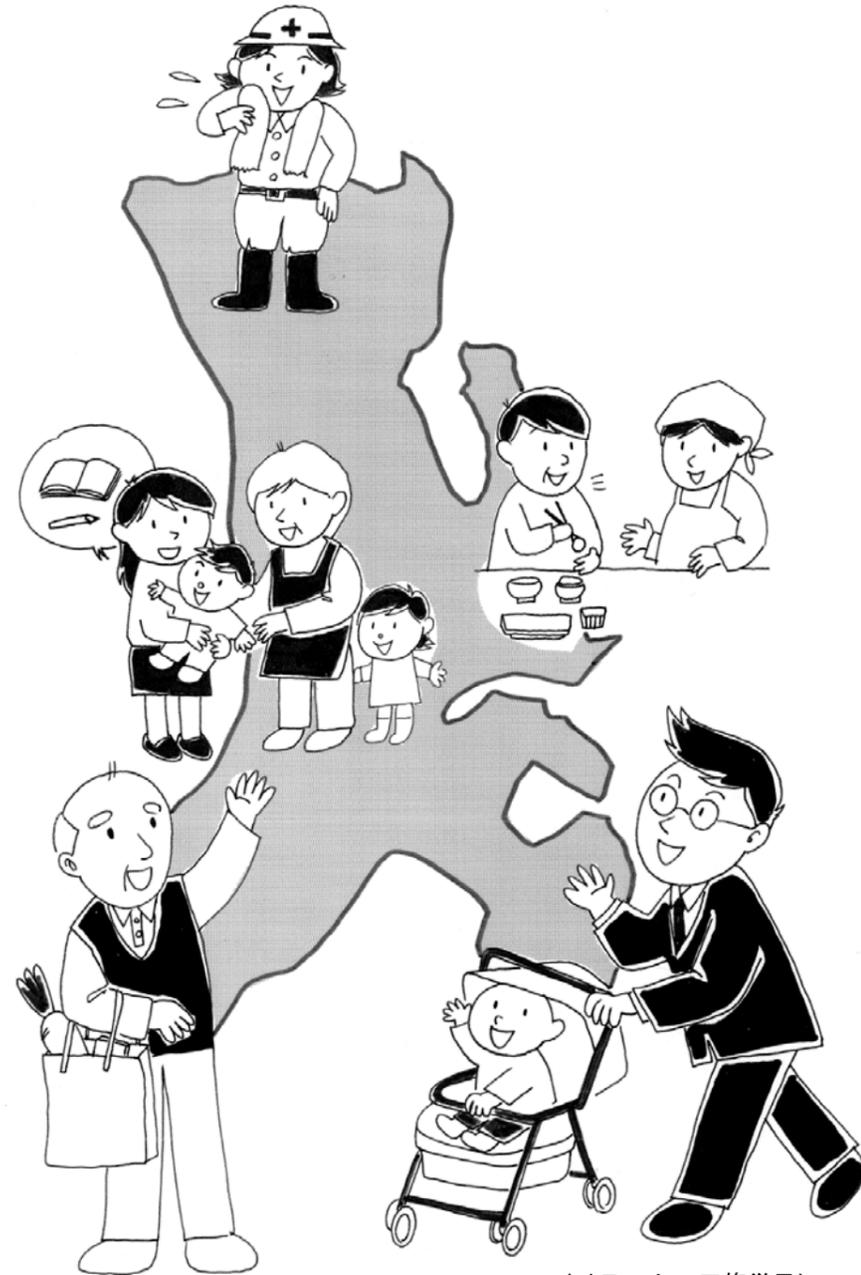


ゆい
結ながれやま
私らしく あなたらしく

女性のチカラが流山を元気にする

イクメン、カジメン、ケアメン、イクジイたちが、女性を輝かせています。パートナーと支え合って生きている、元気で素敵な女性を紹介します。



(イラスト：三條栄子)

「イクメン」・・・育児を積極的に楽しむ男性

「カジメン」・・・家事を積極的に楽しむ男性

自然な育児と親のサポートを目指して 「育児」は「育自」

NPO 法人 green 理事長 小川恭子さん

長年、幼児教育の現場に携わってきた小川恭子さん。彼女が感じることは、お母さんが元気であれば子どもも元気になるということ。そんな思いで設立したNPO法人 greenは、「地域の人々と連携した子育てサポート」を目指して活動しています。
NPO 法人 green ホームページ <http://npo-green.jimdo.com/>

ローフードと子育て cafe きゃろっと

インタビュー時、小川さんは、『子育て cafe きゃろっと』で食事中でした。ここでは、ローフードを提供する場として小川さんが2011年に開店したカフェ。ローフードとは、酵素やビタミン、ミネラルなどを効率よく摂取し、免疫力をつけることを目的とした食のことです。

30年間幼児教育の現場にいた小川さんは「最近野菜嫌いな子どもたちが多。子供たちにとって食は大切です。お母さんたちの食はそのまま子どもの食につながるのです。」と言います。ある時、友人からグリーンスムージーを紹介され、酵素を取り入れることが体には大事だと知ります。そしてローフードや酵素について勉強し、ついにこの『子育て cafe きゃろっと』を開店したのです。

結婚、子育て、そしてNPO 法人設立へ

そんな行動力のある小川さんですが、出産、育児に伴い5年ほど専業主婦となった時期には、社会から閉ざされたような孤独感、焦燥感からストレスを抱えていたそうです。その後、



小川恭子さんも畑を持つという

仕事に復帰し、お母様に子どもを預けながら働き始めました。「仕事に集中できたのは母のおかげ。」そう話す小川さん。そして、「昔のように地域で子どもを見てくれるところがあったら・・・。」という思いで、2010年にNPO法人 greenを設立したのです。

もちろんパートナーの協力があってこそ

家庭の中では、「一人の人間としてやるべきことをやろう」と話しているそうです。「時間的にすれ違いもあるし、お互い考えていることも違います。だけど、困った時には相談する、お互いを必要とする、そんな関係でいたいと思います。」

今後の活動について

食事の場以外にもキッズスペースを作り、子育てママとスタッフ、そして地域の方たちの交流の場であった、『子育て cafe きゃろっと』。しかし、24年度から学童保育の指定管理者になることからお休みすることになりました。

「必ず再開します。1～2年のうちに基盤を作り、いずれは北部にはない子育て支援センターを作りたい。もちろん、その中には食育も含めます。そこまでもっていかないと子育て支援にはならないですよ。」と小川さん。また、若い世代を育てたい、とも。「若い人たちにも子育てに興味を持ってもらい、どんどん関わってほしい。」そして、学童事業では、さつまいもや里芋の収穫祭を開きたい、と熱く語る小川さんです。

ママたちへ

『育児』は『育自』とも言います。子どもから教えられることは多く、ちゃんと向き合うことで親は育っていきます。困った時には人に相談しながら自分を育て、焦らず少しずつ親になってほしいです。」とメッセージ。

地域の人たちとの関わり、食のこと、子育て。小川さんの中で、それらはバラバラになることなく、しっかりと繋がっていました。(三條)

手掛けたものがカタチになっていく充実感 女性の現場監督

株式会社三枝 土岐尚子さん

建設業界といえば男臭い職場の代表格。この業界に12年前に飛び込み、今では、若いながらも職人をまとめる現場監督として采配を振るう女性があります。土岐尚子さん。南流山にある総合建設業の株式会社三枝(さへぐさ・設立/1999年 資本金/2000万円)を訪問し、工事部主任を務める土岐さんに、仕事のこと結婚のことを伺いました。

力仕事は想像以上

「母の会社を手伝う程度の感覚で、作業員としてスタートしました。」と尚子さんは入社当時を振り返ります。思っていたより小柄な女性。案の定、穴を掘る、重いものを運ぶなどの力仕事は、尚子さんにとっては想像以上に厳しいものでした。それでも、自分が手がけたものがカタチになっていく充実感に、仕事に夢中になっていったといいます。代表取締役であり母親でもある後藤由江さんも「正義感が強く負けず嫌いな娘ですから、親の目から見ても本当に頑張っていました。心配なことだらけでしたが…」と母親の心境をのぞかせました。

資格を取るために猛勉強

建築の知識など持ち合わせていなかった尚子さんは、働きながら猛勉強し、各種重機の運転免許、土木施工管理技士・建築士資格を取得。仕事の幅を広げていきました。「女だからと反対されずなんにでも挑戦させてくれたからこそ、さまざまな経験を積むことができました。」

建築現場になぜ女の子がいるんだ、という目で見られることもまだまだ多いそうですが、「いい仕事をすると、顔と名前をすぐ覚えてもらえるのは女の特権」とのこと。それでも現場監督という立場上、年上の職人に指示を出さなければならず、ついつい「～してください」という言葉遣いになってしまう。「言い方は丁寧ですが内容はなかなか厳しいんですよ」と後藤社長は補足します。



パートナーの理解に支えられながら

異業種の男性と結婚して1年。日頃から、ふたりで過ごす時間に、あえてお互い仕事の話はしないことを心掛けているそうです。休日は休息と家事で終わってしまうことが多いけれども、疲れていたら無理はしない。疲労が事故を

「どの業界でもやっていけるんだ」と後藤さん



「筋肉が邪魔で、インテリジェントな女性で、希望して着たい服を着たい」と尚子さんは

招く危険な仕事だからです。パートナーの理解に支えられる毎日だと尚子さんは語ります。

「最近、職人さんに穏やかになったねと言われます。結婚前は、男の人には負けられないという気負いが、どこかにあったかも。」事故と隣り合わせの仕事だからこそ、分かったつもりにならぬよう、疑問はその場で解決。聞くは一時的な恥…を実践しています。

「女性の仕事は、細やか。彼女たちは、建設業界でも戦力なのです。働きやすい環境や子育てを支援する制度など、行政も周囲も応援していきたいですね。」と自らもキャリアを積み上げてきた後藤社長は、女性に期待する気持ちを話してくれました。(青山・柏木)

「ケアメン」・・・高齢者の介護を積極的に行う男性

「イクジイ」・・・定年後、孫育てを楽しんでいる男性

流山市の男女共同参画

～「子育てにやさしいまちづくり」を目指して～

市の審議会等開催時、委員のお子さんの一時預かり※1を実施しています。

「流山市審議会等の委員に係る子どもの一時預かりに関する要領」

子育て中の方々が、審議会委員として発言する機会を拡大するために制定しました。流山市には、環境審議会、コミュニティ審議会、福祉施策審議会、廃棄物対策審議会など、私たちの生活に関連のあるさまざまな審議会があります。子育て中でもまちづくりに参画できますよ。流山市の審議会委員は、HPや広報ながれやま等で、公募します。

※1 対象：6か月以上10歳未満の子供。ファミリー・サポート・センター（江戸川台）を利用。



市が主催する講演会などの参加時、お子さんの一時預かり※2を実施しています。

「流山市保育ボランティア派遣事業実施要領」

お子さんと一緒に講演会等に参加した時、飽きてしまい、動き回られて困ったことはありませんか？

流山市では、市主催の講演会などの開催時に、お子さんをお預かりしています。小さなお子さんがいても、これなら安心ですね。一時保育を利用して講演会などに参加し、充実した生活を送りましょう。

※2 対象：原則1歳以上就学前までの子供。保育ボランティアによる保育。

情報紙づくり講座の受講生のうち、有志の5名が編集員となりこの『結』を作りました。

編集後記



青山路子

「男女共同参画」って、私たちの日常や身近で起こる出来事が舞台になっているんですね。『結』が、皆さまの興味や関心を誘う情報紙になっていけば幸いです。



飯野征男

「男女共同参画」という言葉や内容はまだまだ理解されていないと思います。私は今回『結』の編集員として参加させていただき、男女共同参画のことを少し理解することができました。そして、いろいろな方のお話を聞いたり一緒に物を作り上げることの大切さを感じました。



柏木恵理

流山の輝いている方々の情報発信。編集、発行と自身も流山のために何か出来ているかもしれないと思える心の報酬を頂いた、今期の情報紙編集でした。



澁谷和子

地域団体で試行錯誤しながら広報紙を発行しています。ある時『結』のことを知り、編集員になりました。編集会議は楽しく、そして、とても参考になりました。これからも、編集の勉強をしていきたいと思っています。



三條栄子

昨年に引き続き、二回目の編集員となりました。そしてカットも担当させていただきました。編集を通じてたくさんの方と出会い刺激を受けました。では、私ができることは、なんだろう？まだまだ暗中模索ですが、流山をよりよくするために頑張っていきたいと思っています。

(順不同)

流山市役所 総合政策部 企画政策課 男女共同参画室
〒270-0192 流山市平和台 1-1-1
TEL:04-7150-6064 FAX:04-7150-0111
Email: danjokyoudou@city.nagareyama.chiba.jp

流山市で初めて 女性の農業委員

政策方針決定過程への女性の参画の拡大
流山市では、審議会委員の男女それぞれの割合が4割を下回らない※という目標を掲げていますが、女性委員の割合は28.5%(23.4.1 現在)とまだまだ低い状態です。そういった中、流山市初の女性農業委員が誕生しました。



農業委員会総会のあとにパチリ

小嶋悦子さん(左)、小倉節子さん(右)です。それぞれ農業協同組合の役員も兼任され、快活な中に芯の強い大和撫子の精神を持ちあわせているという雰囲気のお二人です。

「農業委員会のメンバーに加わることは、身の引き締まる思いです。先駆者として、何をしていくか暗中模索ですが、やっぱり女性は無理だなと言われぬように、また私たちに続き女性委員を選出してもらるように頑張りたい。」と、男性中心で回る輪に一步踏み込んだ決意、内側にある強い気持ちを抱負として語っていただきました。

女性ならではの視点というのは重要なものです。流山の農業を盛り上げていくために、女性委員の役割に大きな期待が寄せられます。お二人の左胸には、農業委員のバッジが輝いていました。(柏木)

※【審議会等の委員の選任等に関する指針】では、「女性の意見を政策や方針に十分反映させる必要があることから、委員割合が4割を下回らないよう女性委員の登用に努めるものとする。」としています。新たに審議会等の設置、または審議会等の委員に変更を生じた場合は、広報やホームページで公表します。

結インフォメーション

旬の味をぜひ食卓で 「新鮮食味」



流山市内の農業者等約50人で構成する「流山市農産物直売出荷組合」(組合長は高城勲さん)が運営する「新鮮食味」がコミュニティプラザにオープンしました。市内の旬の野菜や果物、食品加工品、ふるさと産品など、店内は豊富な品ぞろえ。「野菜や果物は農家の方が朝採りしたものを中心に揃えています。生産者の名前も表示してあるので、お気に入りの生産者を見つけるのも楽しいのではないのでしょうか。」と、店長の寺島さん。

放射性物質の検査も随時行ってお待ちしています!(飯野)



店長の寺島さん

場所：コミュニティプラザ内(大群64-1)
(流山おおたかの森駅からぐりーんバスあり)
営業：火・金・土・日 10:00~14:00
TEL:7155-7015

男女共同参画クイズ

お父さんと息さんがドライブに出かけました。とても楽しいドライブでしたが、家路の途中、交通事故に遭遇してしまいました。お父さんは軽傷でしたが、息さんは重体。救急車で病院に担ぎ込まれ、手術を受けることになりました。

ところが、手術をする有能な外科医が「実の子供に対して冷静なオペができない。」と言いました。

さて、この3人の関係は？(答えは右ページ)

京都大大学院教授伊藤大雄著『男女共同参画』が問いかけるもの 現代日本社会とジェンダー・ポリティクス 参考



からだの中から健康になろう

「食育」という言葉をよく聞くようになった今日この頃。栄養バランスが整った食事を取ることが大切と言われますが、「楽しく食べる」ということも忘れてはいけませんよね？

「栄養素の整った食事会」に行ってきました怪獣公園脇の第2コミュニティホームで定期的に開かれている食事会です。この会の主催者である『健康を育てる会』長崎地区代表の重トシコさんにお話を伺いました。



「健康を支えるためには、正しい食生活を実践することが大切です。体に必要な栄養素の整った食事を皆さんに召し上がっていただきたい。ひとり暮らしの方、ご高齢の方、お子さんに何を食べさせていいのかわからない若いお母さんたち……。ぜひ和やかにお話をしながら食事を共にして、お友達づくりもしていただけましたら幸いです。」

『健康を育てる会』で準備をしますので、気軽に食事をしに来てください。場所は第2コミュニティホーム(野々下3-797)、毎月1回の開催、12:00~13:30。参加費は800円。40名ぐらまで参加できます。要予約です。(渋谷)



この日のメニューは、さんまの生姜煮、チンゲン菜の豚肉巻、じゃがいもと玉ねぎのグラタン風などなど。コーヒーも付きます。

今日の食事会はいかがでしたか？

「レストランのような雰囲気が素敵！おしゃべりしながら楽しく食事ができました。最後のコーヒーがおいしかったです。」(50代女性)

「栄養素の説明は勉強になりました。体の中から健康になりたいと思いました。」(60代男性)

「お友達もできて、毎回来るのを楽しみにしています。」(70代女性)

【問合せ・申込み】

健康を育てる会 長崎地区代表 重トシコ 7146-0362

要望に応じて、出前で食事会(母と子の食事会等)の開催も可能です。



家族の食卓にもう一品!

—材料—

- しょうが……200g
- しょうゆ……大さじ3
- 砂糖……適宜(はちみつでもOK)
- かつお節……適宜
- 酢……お好みで少々

しょうがの佃煮



- しょうがは皮をむかずに、たわしでこすり、薄くスライスする。
- 鍋に水をたっぷり入れ、しょうが、砂糖、しょうゆ、酢少々を入れて火にかける。あくを取るの、最初だけ。
- 弱火でコトコトと煮る。煮汁が少なくなったらかつお節を加え、甘みが足りないときは砂糖を加える。
- 煮汁がなくなったら出来上がり。かつおぶしもいれているので、ごはんのお供にぴったり。酢を加えることで、日持ちもします。

「食育」に関する情報は、流山市ホームページ「食育」ページに掲載されています。詳しくは、流山市ホームページ「食育」ページをご覧ください。【おまけのレシピ】